



洞口さん(経2)への

処分阻止!!!

明日はデモだ!

法大生のみなさん! 法大生自身の力で処分を阻止し、自主法政祭への規制をはね返すために30日はデモをやるう!

28日の経済学部教授会による洞口朋子さんへの「呼び出し」は、まさに処分のための口実づくりで許しがたいものでした。「呼び出し」では、氏名不詳の「教授」が、2月5日の入試で受験生の通行を妨害した、6月10日にビラまきで「授業妨害」をやった、過去の処分を反省していない、な

どと一方的に「通告」してきてだけです。ふざけるな!

入試で「威力業務妨害」をでっち上げ、洞口さんを逮捕させたのは法大当局だ!(洞口さんは不起訴で釈放) 6月10日、868B教室の学生と洞口さんとの討論を妨害し、恫喝したのはヤクザ部隊だ! 洞口さんは法大生を代表して、2回の学祭説明会で規制絶対反対の先頭に立ってきました。30日のデモで私たちの意志を示し、処分と規制を粉碎しよう!

洞口朋子さんが訴える!

今、私への処分が狙われています。「理由」の一つとして、私が6月10日に1年生の語学授業前に教室でアピールをしたことが、「授業妨害」だと言っているのです。隣にそのクラ



スの1年生がアピールしてくれています! その日に起きたことは「授業妨害」ではありません。ヤクザ部隊3人が、授業前にアピールする私を暴力的に教室から叩き出そうとしました。しかし! そのクラス全員がビラを受けとり、私の「こういう大学のあり方を変えたいんだ!」という訴えを真剣に聞いてくれました。この事実を120%ねじ曲げ、私を処分しようとしているのです。

昨日(28日)、経済学部教授会からの呼び出しがありました。教授2人は最後まで名乗らず、私が「学生が逮捕・処分されていることに教授として抗議の声一つでもあげてきたのか?」「学祭規制反対のビラまきがいけないことなのか?」と追及すると、何も答えず「ここはあなたの意見を聞く場ではない」と言い放ちました。こんな教授に学生を処分する資格はない! 法大生の声を一つに集めれば、絶対に私への処分は阻止できる! 30日の昼休み、「処分阻止! 学祭規制粉碎!」のデモをやるう!!

人間環境学部 1年F組・学生

6月10日(木)の868B教室において「授業妨害」はありませんでした。そもそも洞口さんは、必ず授業前には引き上げていきます。

大学の言う「授業妨害」は授業の始まる3~5分前に起こったものであり、教授も来られる前です。この事実、あの「授業妨害」の時にいたクラス全員が見ていたことですし、私も目撃者です。また、洞口さんの配ったビラをほとんどの学生が受け取りました(一部に受け取らない学生がいたのも事実ですが)。しかし、クラスの全員に問いただしても「授業前に起こった」としか言えないでしょう。むしろ、3人の男たちに暴力的に連れ出されていった洞口さんを心配する声の方が多かったのが事実です。

「学生による通報だ」と教授会は言っていますが、あのクラスに「授業妨害だ」として通報する学生は皆無だと思えます。その後、授業は何の支障もなく90分間行われています。もしこのことをもって洞口さんの「処分理由」とするのであれば、もはや大学を信じることはできません。いったい私たちは何を信じればよいのでしょうか?

3・14法大弾圧を許さない法大生の会

ブログ <http://hosei29.blog.shinobi.jp/>

連絡先 hosei_five@yahoo.co.jp



齋藤郁真君(文化連盟委員長、法学部)

学生注目!! 法大生のみなさん! 経済学部洞口朋子さんに教授会より呼び出しがありました! 「洞口って何? それおいしい?」という人もいるかもしれません。いつも



大学に反対するピラをまいている女性といったら分かるでしょうか?

その彼女に経済学部教授会が「普通の大学での行動について聞きたい」と呼び出しをしました。先にも書いたとおり、洞口さんの「普通の学内の行動」はみなさん自身がよく知っ

てることです。我々の行動を全体として支持しなくても、これが不当であることはよく分かるでしょう。「大学で大学の運営方針に反対するピラをまいていたら先生に呼び出された」...どこの国なんですか? しかし、まぎれもなくここ法政大学の話です。

洞口朋子さんは、学内の規制強化に対して一番先頭で反対してきた学生です。彼女が処分されれば、それこそピロ下(の机)消失の第二章は楽々と始まるでしょう。みんなの楽しいキャンパスライフを守るため、学生全員の力で洞口さんを守ろう! 6月30日、水曜はデモに出よう! 起て、法大生よ!!

新入生からの怒りのアピール!

昨日、学内でピラ配り・宣伝活動をしていた洞口さんが「最近の貴方の行動について聞きたい」という理由で法大当局に呼び出されました。しかし、洞口さんの行動は学生としておかしい所は何一つなく、宣伝の仕方やピラの内容もどこぞのカルトなんかと違い、堂々と自らの立場を表明し、かつそれとしても明確なものです。にもかかわらず、法大当局は洞口さんに対し、まるで中学か高校のように、一方的に呼びつけ「必ず一人で来るように」などのたらい、密室で最後まで「名前すら名乗らない」教授たちによって尋問させたのです。

僕は新入生ですが、これはどう見ても明らかに批判的な学生への恫喝であり、悪質な言論弾圧であり、こんなことがまかり通っている法大のあり方に大変驚きました。「これは開発途上の軍事独裁国の話ではなく、日本の首都東京にある市ヶ谷キャンパスの話だ」(『ジャパン・タイムズ』09年6月9日)、法大における一連の学生弾圧を扱った記事の文章です。

みなさん、今や法大当局は、学生が本来学生として持っている当然である普遍的権利を否定していることがハッキリしました。ここでは日本国憲法なんてモンは存在しません。批判的な人間は許されず、お上の言うことに無条件につき従うロボットのような人間こそ大学当局のいう「学業の本分を果たしている健全な学生」なのです。これは学問の破滅であり、大学の破滅であり、もっと言えば新自由主義的にも破滅です。偏差値としては二流私立である法大で、自分で動くことも知らないロボット人間になったところで、「イイとこ」に就職出来るのでしょうか? 法大が他大学に比べて魅力的なのはま

さにそのバンカラとも言える高度な学生自治の気風と、そこから来る独特の学生文化だったのではないのでしょうか?

だからこそ僕は、法大生が法大生であり続けるために、大学が大学であり続けるために、呼びかけたい。30日は門前への集結と法大包囲デモへの合流をもって、洞口さんへの処分を防ぎ、理事会が営利の為だけに变质させたこの腐った就職予備校体制をぶっ潰そう! 学生であり続けたい、ただその一点のみにおいて、我々はどんな信条を持っていようが、どんな立場に立っていようが、共通の敵に対して団結出来るということを見せてやろう! 法大はまだ終わってない! ぜひともみなさんの結集をお待ちしています!!

法大当局・増田総長への怒りのメッセージ

自由と権利をうばう
学問に何の価値もない
思います。
No. という声を封殺して、
楽しい学生生活がなくなって、
多様性の否定でつまらない
大、哲 3年、

サークル員からの処分反対の声!

洞口処分阻止! 学祭規制粉碎! 6・30第3波法大包囲デモ

6月30日(水曜日)

12:40 法政大正門前集合 ~ 12:55 デモ出発

13:25 キャンパス到着(3限に間に合います)

デモコース

正門前 一口坂 靖国通り

九段校舎(総長室) 家政学院短大横

麹町郵便局横 市ヶ谷東急ビル横 外堀公園 正門前

